

こども植物画教室のとりくみ

岸本美季 中嶋恵子 中瀬美絵
(レモンリーフ)

はじめに

植物画とは、植物を芸術と科学の目で描く絵のことをさします。私たちレモンリーフは、人と自然の博物館で毎年10月に、そして夏休みには神戸市立森林植物園で、小学1年生から中学3年生を対象とした「こども植物画教室」を担当して10年目になります。そのとりくみをご紹介します。

活動内容

私たちの植物画教室は、朝、描く植物を子ども達を選ぶところから始まります。色鮮やかな草花やおもしろい実を付けた枝など、博物館の先生方が採集してくださった植物はどれも魅力的。「何を描こうかな?」とみんな真剣な表情で選びます。こちらも緊張する瞬間です。目を輝かせながら描きたい植物を見つけた時は、ほっとします。そして座席について、五感を働かせしっかり観察します。

植物画を描こう

日時 平成 27年 10月 3日(土) 10:30~15:30
10月 4日(日) 10:30~15:30

植物をよく観察してから植物画を描きます

講師 高橋 賢・奥谷川 大一・レモンリーフ
対象 小学生~中学生 定員20名
受講料 1000円(1日のみ)、1500円(2日連続)
(低学年は1日で仕上げます。お申込みの際に1日のみか2日連続かを明記ください。)
講師 人と自然の博物館(実習室)
申し込みが切 9月18日(金)

美しい葉や実を参考に描くことが大切です。とんちにうれいごとでいい。植物画の先生が丁寧に指導していただきます。植物のつぼみから開くまで、植物画を描くことに挑戦してみようという気持ちで参加してください。

◆お問い合わせ・お申し込み先
最終のお申込みは、ほかのファックスや電子メールに、電話・伝言・手紙・郵便・宅配便、あればファックス番号、電子メールアドレス、所属学校名(50音)「植物画を描こう」を記入して申し込みください。
ひとはくホームページでも申し込みます。

人と自然の博物館 生物学習部
〒650-0184 神戸市中央区北長狭町7丁目
TEL (078) 559-2003
FAX (078) 559-2009
E-mail: seminar@hito-natural.jp

ホームページ d151k.jp



この座席も兄弟や友達どうしが同じグループにならないようになど、描くことに集中できるよう配慮しています。次に構図を考え、デッサンから彩色へと進んでいきますが、子どもたちのキラキラした好奇心に寄り添いながらのアドバイスを心がけています。低学年は一日で仕上げ、高学年・中学生は二日続けての制作です。

小学2年生の作品です



構図・デッサンは、まず植物をよく観察するところから始まります。博物館の先生に説明を受けながら、ルーペや時には実体顕微鏡などを使い、その植物の特徴をつかんでいきます。花や葉っぱだけでなく根っこや果実など、実際の大きさに忠実に、または拡大して、鉛筆でしっかりと描いていきます。彩色は私たちの作った色見本を参考に、実際の植物の色に近づけるよう絵の具を混ぜ、うす塗りでも色を重ねていきます。特に小学生の絵の具は発色良く作られているため、植物本来の色を事前に混色して作った色見本は、子供たちに説明するための必需品となっています。



休憩中は気分転換も・・・

せっかく描いたデッサンがつぶれないように、水の量を加減しながら慎重に進めていきます。慣れない面相筆を使つての彩色に、最初は戸惑っていた子どもたちも、だんだん筆使いが上手になっていきます。低学年で筆がまだ上手く使えない場合は、色鉛筆を使つたりもします。葉脈や茎に生えた毛など、細かい部分に至るまでしっかり描いてようやく完成です。色々な過程があり



神戸市立森林植物園 提供

ますが、見たままを描くこと、観察することが何より重要です。一生懸命観察すればするほど、筆が進まなくなることもあるくらいです。絵が上手下手ということより、探求する姿勢が一番大切だと考えています。

そして、出来上がった作品は、植物と対話しながら描きあげた素晴らしいものとなります。子どもたちも私たちもわくわくする瞬間です。絵とともに、誇らしげな顔も印象的です。続けて来てくれる子どもたちもいます。低学年の頃は、他のイベントに参加してしまい途中でいなくなったり、パレットがプールのように色の洪水になったりと、私たちをびっくりさせていた子どもたちも、会うたびに身長も高く、描く姿勢も落ち着いてきて、その成長には驚かされます。そして、作品も年を追うごとにしっかりとしたものとなり、毎年国立科学博物館で行われる「植物画コンクール」で入賞する子どももいます。私たちも成長する場となっています。

おわりに

学校の授業で絵を描く機会がありますが、植物だけに集中して取り組めるこの教室は、他にない貴重な時間を与えてくれると思います。子どもたちには、植物を身近に感じ、真っ白だった画用紙から、完成した作品を見たときの充実感を味わってもらえたら、またそのお手伝いできれば、何より幸せです。植物画は画材となる植物がとても重要です。いつも色々な植物を採集し、新鮮な状態で準備してくださる博物館の先生方に、心より感謝申し上げます。



皆、集中しています！



採集作業は下見もかねると2～3日かかり、水あげも心配です。